

# しない事の規律

人は考えていることが必ず実現すると言います。目標や願望は実現する、本当にそうでしょうか。

自分を信じれば、諦めなければある種の偶然か、予期せぬ必然が、運命を切り開くと語られます。実際に確信している訳ではありませんが、全く否定も出来ず、あるようにも思えます。

空想や夢想は内なる声の反響といえます。従い他力ではありません。

行動した結果が現在であり、現在の生活がこれまで考えてきたことの総決算だと言えるのです。生きていく限り安定などない。不安こそが人間本来の姿ともいえます。

人生で手にする報酬は、奉仕に対し正比例します。

どれだけ種をまいたかで収穫の量が決まり、種の種類が収穫の質を決定するので

成功するか失敗するかは「心構え」一つで決まります。未来は「きつとつまくいく」という心構えを常に持つことでしょうか。

勢いのある時、人は

まれない人だけなのであります。

しないことはしない自分の規律、この一つでも守ることで、多くのリスクから遠ざかります。

「リスクとリターン」は「恐怖と欲」、自分との闘いです。

絶対絶命と思えた時に実はチャンスが始まっています。ピンチは私達が試される試金石であります。

その時、前向きに対処すればチャンスに変えられると言います。

成功者は人と同じことをして、成功はしないと考えるものです。

ピンチに対する対処法を無条件に実践する人が、一定の規律がある人が、どんな時代でも生き延びるのではないのでしょうか。



人間は「見えない力」によって支配されると言います。

見えない思考の力、人間の脳皮質の百四十億個の神経細胞は実際に、生命維持するだけには多すぎではないか。人間の頭脳は、他人から発する潜在意識の創造的想像力、気配や思考を受ける受信装置でないのかである。

## 間違った人間はない

即ち物理的な五感からのみの知識に限定されてきたものが、目に見えない、触ることがで

きないもの「力」が実際には支配し、大きな影響力に晒され、勝つことができない。

予感や推測などが、当たるところにありますが、これらは単なる偶然でしょう。内なる声を聞き、素直に従ったことにより顕在化した結果に、どれだけ違いがあるのでしょうか。

私たちは世界情勢のうねりの

中で、翻弄されています。

駆け引きに長けた、はつたりとペテン師達が支配する世界に振り回されています。どんな人間でも、確実に間違えます。信頼はできません。結果、不透明感はどうな時代でも消えないのです。

私たちは、生かされています。人間には、それぞれが生まれてきた使命があると言います。結局は、周りや誰かに奉仕するために生かされているのでしょうか。

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2017年8月18日 (金) NO 443

地域から明るい未来を作ろう